
会員専用ページ（マイページ）開設のお知らせ

この度、インターネットから皆様の登録内容の確認・変更や、会費納入状況の照会ができる「マイページ」を開設する運びとなりました。つきましては、下記の利用案内をご参照のうえ、ご自身の登録内容の確認と修正をお願いいたします。

■マイページへのログイン手順

- 1) 学会HP (<https://iap-jp.org/orjs/mypage/login/login>) からアクセスする。
- 2) ログイン画面に、会員番号8桁（半角）とパスワード8桁（半角）を入力してログインする。
- 3) ログイン後はメインメニューから「登録内容の確認・変更」等を選択し、ご利用ください。

■パスワードについて

パスワードは上記の手順でログインした後、「パスワードの変更」画面にて各自変更することができます。パスワードがわからなくなった場合には、ログイン画面下の「パスワードを忘れた方はこちら」をクリックしてください。その際、メールアドレスが登録されている必要があります。

尚、個人情報の為、お電話でのパスワードのお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

■登録内容の確認・変更の際の注意

1. 住所について

住所変更があった場合、また政令指定都市への移行や市町村合併等で住所表記が変わった場合は、必ず変更をお願いします。マイページから変更される場合は、数字やハイフンは半角で入力してください。また、外字、ギリシャ数字、機種依存文字は文字化けしますので使用しないでください。

*会員情報の変更に伴い「郵送物送付先」「請求書送付先」に変更がある場合は、送付先変更も忘れずをお願いいたします。

(機関誌の郵送先変更は毎月20日までの登録修正分が有効となり、新住所へ送付されます)

2. メールアドレスについて

メールアドレスをお持ちの方はできるだけ登録いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

また、メールアドレスを登録されている方は、再度、登録アドレスの確認をお願いいたします。

今後はご登録いただいた送付先メールアドレスに、学会からのご案内をお送りさせていただきます。

3. 氏名・会員種別の変更は、マイページではできませんので、改姓や学生会員からの変更等の場合は、事務局までメールでご連絡ください。

4. 無料学生会員への機関誌送付は2020年度末で終了します。

機関誌送付希望者は有料学生に変更し、年会費（5,000円）が必要となります。

変更を希望される場合は、事務局までご連絡ください。

*退会のご連絡は

①会員番号、②氏名、③退会理由

をご記入の上、メールにてお知らせいただけますようお願いいたします。

E-mail: jimukyoku@orjs.or.jp

● 第38回学生論文賞募集

OR学会の発展は、将来の優秀なOR研究者およびOR実務担当者の養成いかにかかっています。その一助として、ORに対する学生の関心を高め、かつ大学におけるOR関係学科間での情報交流にも役立つため、学生会員の卒業論文、修士論文の中から、毎年優秀なものを選び、「日本OR学会学生論文賞」として昭和58年度より表彰しております。対象は、学部卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。指導教員、学生がともに本学会員であることが必要です。卒業論文・修士論文の指導にあたっておられる教員の方々には、積極的にご推薦くださいますよう、お願いいたします。

(表彰委員会)

応募方法：

- (1) 正会員である指導教員の推薦状1部を、指導教員から送付してください。

＊推薦状は、学会WEB <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>よりダウンロードしてください。

- (2) 卒業論文あるいは修士論文の論文、および論文要約のファイルを、学生から提出してください。

＊PDFのファイル名は、それぞれ次のように執筆者の名前入り、英文字としてください。

- ・論文「Thesis_Yamada_Taro.pdf」
- ・論文要約（A4判2枚）「Abstract_Yamada_Taro.pdf」

応募学生の資格：2021年3月に学部を卒業、あるいは修士課程を修了する会員で、引き続き学生会員あるいは正会員である者

応募締切：2021年3月31日(水)

送付先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

表彰：受賞者には、OR学会研究発表会その他適当な機会に表彰し、受賞論文の要約を本誌に掲載します。

● 協賛・後援案内

＊OR学会が協賛・後援するイベントの情報です。詳細は主催者へお問い合わせください。

・第18回（令和3（2021）年度）「日本学術振興会賞」受賞候補者推薦要項

1. 対象分野

人文学、社会科学及び自然科学にわたる全分野

2. 授賞

授賞数は25名以内とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として研究奨励金110万円を贈呈します。

3. 対象者

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により学術上特に優れた成果を上げたと思われる者のうち、令和3（2021）年4月1日現在以下の1）から3）の条件を満たす者とします。

- 1) 次のa) 又はb) を満たすこと。

a) 日本国籍を有する者（海外在住の日本国籍を有する研究者を含む）

b) 外国人であって我が国で5年以上研究者として大学等研究機関に所属しており、今後も継続して我が国で研究活動を予定している者

- 2) 45歳未満であること

3) 博士の学位を取得していること（博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含む）

4. 推薦権者

1) 機関長推薦 我が国の大学等研究機関又は学協会の長

2) 個人推薦 優れた研究実績を有する我が国の学術研究者（海外在住の日本国籍を有する学術研究者を含む）

※自薦は受け付けません。

5. 受付期間

令和3（2021）年3月31日（水）～4月5日（月）17:00（必着）

6. 応募方法

日本学術振興会賞の推薦は電子申請システムを通じて受け付けます。電子申請システムに登録（アップロードを含む）を行うとともに、一部資料については紙媒体で提出してください。書類の作成にあたっては、本事業のウェブサイトに掲載している「提出書類の記入要領」及び「Q&A」を参照してください。

・本事業ウェブサイト

<https://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-1

独立行政法人 日本学術振興会

人材育成事業部 研究者養成課 「日本学術振興会賞」担当

TEL: 03-3263-0912

Email: jsps-prize@jsps.go.jp

・日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会 2021

場 所: Web (オンライン) 開催

日 程: 2021年3月8日(月), 9日(火)

主 催: 日本機械学会 生産システム部門

・一般社団法人電気学会 令和3年電気学会全国大会
シンポジウム「エネルギー分野におけるAI・IoT普及に向けた最適化技術適用の最前線」

日 程: 2021年3月11日(木) 9:00~12:00

場 所: 大阪大学豊中キャンパス (〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1)

主 催: 一般社団法人電気学会

講演題目:

- (1) 電力自由化時代の発電・調達計画における最適化技術
- (2) 収益変動リスクを考慮した発電機の週間運転計画とモデリング
- (3) 社会的余剰最大化に基づくデマンドレスポンス設計
- (4) 深層学習を用いた複数拠点熱電併給システムの運転計画手法の開発
- (5) エネルギー機器の最適運転計画とモデリング

・公益社団法人精密工学会 第414回講習会「製造現場でのIoT活用術—今日から始めるひと工夫—」

日 時: 2021年5月24日(月)~2021年5月30日

詳細URL: <http://www.jspe.or.jp/wp/wp-content/uploads/course/414.pdf>

● 新入会員 (2021年1月理事会承認分)

—学生会員—

新井 友梨	長崎大学 (九州支部)
渡邊 燃	東京工業大学
天野 雄樹	京都大学 (関西支部)
星野 欣樹	東京理科大学
柳下翔太郎	中央大学
新幡 駿	東京大学
大岩 優華	公立諏訪東京理科大学 (中部支部)
李 夢夢	東京工業大学
水越 雅紀	静岡大学 (中部支部)
欧陽 君顔	筑波大学
富士 晃成	東京大学

* 支部表記のない方は本部所属です

● 会員訃報

長年の本学会へのご尽力に深謝、謹んでご冥福をお祈りいたします。

眞壁 肇 氏

2021年2月6日にご逝去されました (享年92歳)

OR学会関係

フェロー (1993~)、庶務理事 (1873~1975)

2021年度第1回ORセミナー『量子コンピュータと次世代計算機活用』

開催趣旨: 量子コンピュータや量子アニーリングマシンを開発・活用する企業の方を講師にお招きし、ハードウェアの仕組みや、最新の話題、活用事例についてご紹介いただきます。

日時: 2021年6月7日(月) 12:30~17:20 (12:15~ Zoom入室可能、接続テストなどをを行います。)

会場: Zoomによるオンライン開催 (申込でご登録のメールアドレスへZoom接続情報をご連絡いたします。)

コーディネーター: (株)日立製作所 野本多津

司会: (株)NTTデータ 矢実貴志

定員: 90名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム: (敬称略)

12:30~12:40 **開会の挨拶**

九州工業大学 大輪拓也

12:40~13:40 **セッション1「AWSのフルマネージドな量子コンピュータ Amazon Braket」**

講師: アマゾンウェブサービスジャパン(株) 宇都宮聖子

Amazon Braketは、AWSで簡単に量子コンピュータのコーディングをスタートできるフルマネージドな量子コンピュータサービスです。Amazon Braket Python SDKを使って、IonQ, Rigetti, D-Waveといった量子ハードウェアQPUにアクセスすることができます。本セッションでは、Amazon Braketの特徴と、クラウドによる量子コンピュータ提供によって期待される展望をお話します。

13:50~14:50 **セッション2「NECにおける量子コンピューティング技術開発」**

講師: 日本電気(株) 白根昌之

NECは1999年に世界で初めて固体素子量子ビットの動作実証に成功して以来、20年以上にわたり超伝導量子コンピューティングの研究開発を継続しています。本発表では、NECの量子アニーリングマシンを含む世界のHW開発状況に加え、NEC製ベクトル機によるシミュレートドアニーリングマシンの組合せ最適化課題への適用事例を紹介いたします。

15:00~16:00 **セッション3「量子アニーリングと数理最適化の融合」**

講師: (株)シグマアイ 大関真之

量子揺らぎを用いた組合せ最適化問題の解法として量子アニーリングが注目を集めています。その実現を果たした量子アニーリングマシンも大規模化が進み、実問題への適用が期待されるフェーズに突入しています。ただこれまでの数理最適化手法も活用することで、より多くより正確により速く問題を解く方法が開発されています。最近提案された手法を紹介することで数理最適化との融合可能性について議論いたします。

16:10~17:10 **セッション4「万能量子コンピュータを用いた量子化学計算・物性シミュレーション」**

講師: (株)QunaSys 中川裕也

万能量子コンピュータの産業応用先として最も注目されている分野の一つである量子化学計算・物性シミュレーションについて紹介します。特に、この数年で急速に大規模化・高精度化が進みつつあるNoisy Intermediate-Scale Quantum (NISQ) デバイスという種類の量子デバイスを用いた計算アルゴリズムに関して詳しく述べます。講演では、量子化学計算・物性シミュレーションの基礎となる量子系のシミュレーションという問題を解説し、それが万能量子コンピュータやNISQデバイスを用いてどのように効率的に解けるのかを紹介します。

17:10~17:20 **閉会の挨拶**

NTTデータ先端技術(株) 中川慶一郎

参加費 (電子テキスト代込み): 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員20,000円。 ※参加費の返金には応じられない旨、ご了承ください。

※紙テキストをご希望の方は、印刷製本・発送の費用をご負担いただくことで対応いたします。

申込および支払方法: OR学会WEB「ORセミナー」<http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html>からお申し込み・お支払いください。

申込および支払締切: 2021年5月14日(金)

協賛学会 (交渉予定): 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (Jsripim), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

お知らせ: 非会員と学生非会員の方がご参加いただいた場合の入会特典は、終了させていただきました。

問合せ先: OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

2021年度年会費納入のお願い

2021年度（2021年3月1日～2022年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。支払取扱票は、2021年1月以降もご使用可能です。

請求書が必要な場合は、必要事項（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）、請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）をメールにて事務局へご連絡ください。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月です。

年会費の口座振替日変更のお知らせ

年会費自動振替の方は2021年2月22日(月)に引き落とししました。

2021年3月で卒業の学生会員の方へ

1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ

新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。

2) 退会希望の方へ

退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、メールにて事務局へご連絡ください。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行 根津支店（店番号235）普通1124744
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
シヤ）ニホンオペレーションズリサーチガッカイ

郵便振替口座 00190-6-79492
口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキユウ）（店番号019）
当座 0079492
口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円
学生会員 5,000円
シニア会員 7,200円
*手数料は払込人様ご負担でお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。
*所属機関からお支払の場合は、対象の個人会員名と所属機関を事務局にお知らせください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

①WEBからの入会申込み

②入会金600円のお振込み

③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 機関誌送付希望者は有料学生に変更し、年会費（5,000円）が必要となります。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

OR学会事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5

サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100 FAX: 03-3851-6055

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

*各種変更はマイページをご利用ください。変更できない項目や退会届はメールにてご連絡ください。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。